



新春の大空せましと舞踊るタコ。少年の日、タコに魅せられ、それから七十年。竹内孫次さん（戸畑区在住）は、八十一歳の今もなお、愛妻、君野さんとタコづくりに余念がない。孫次さんがあみ出した

タコは、かたちの面白さからあり、遠くドイツ、スエーデンからも注文がくるといふ。ことし大阪で開かれる万国博覧会の郷土民芸コーナーに出品が決まり、老夫妻の表情は明るい。



（赤い文字）
お伊勢参り
お伊勢参り

▼神前のカシワ手▲
あけましておめでとうございませう。正月に一家あげての神もうでは、年々盛んなようですね。江戸時代のお伊勢参りのように、レジャー化してるんじゃないでしょうか▼子供が幼稚園のときでした。神前でカシワ手を打つたら、見馴れないオヤジの仕草に「なぜそんなことするの」ときかれて返答に窮したことがありました▼のちほど、三世紀つまり弥生後期の日本の状態を記した同時代資料の魏志倭人伝を読んだとき、自己流ながら解明しました▼この中に「見大人所敬、但搏手以当跪拜」大人の敬するところを見て、すべて手をうって以て跪拜に当つ」という一章があります。「支配者が神をおがむのにならって、一般民衆は支配者のするようになり、ひざまづいて礼拝を、かわりに、立った。打っておがむ」といふ。当時、すでにカシワ手。礼があつたことはわか、みしたが、ではなぜか、形をとったかとなると推理以上のものは出てきません。

（瀧）

談話室



七〇年代は、青年期を迎えた北九州市が大きく前進する時代。そこできょうは市民のかた四人にお集まりいただき、市長を囲んで、明日のまちづくりを語っていただきました。

市長を囲んで 新春座談会

司会 きょうは七〇年代の北九州はいかにあるべきかを、過去の市政を回顧しながらざっくばらんに話したいと思っています。

更生会社のレットル消える

三井 はじめのころの市政は、もう全然話にならなかつた。いくら税金でまかなっているといつても、収支のバランスがとれない状態というのは会社でいえば倒産した更生会社です。しかし、まあだんだん良くなっており、あと一年ぐらいで更生会社北九州市のレットルが消え、本当の市の姿になると思います。



月守 さん

柴田 三井さんのいわれたことに賛成するところが多い。わたくしは経済界におりますが、一昨年あ



米津 さん

市が文化課を新設し「文化財展」を、昨年は「藩政文化展」をと、二年連続で北九州の文化資料展を開いたことは、市民の文化意識を高めるといった意味で、影響は大きかったと思います。これは大成功だった。都市を形成しているのは人間です。この二年間で、人間を尊重した文化活動の一応の基盤ができたと思います。

予想以上の立直り

市長 三年間を通していえますことは、予想以上に行政・財政の立直りが早かったことです。正直に言って、市長に就任する前、北九州市はもう手遅れではないだろうかと心配でした。ですから当選したとき、普通の当選者のようにダラムさんを抱えてニコニコ笑うなんて心境ではありませんでしたよ(笑い)。きっと悲壮な顔だったと思います。報道関係のカメラマンが笑ってくださるというものですから、笑いをうかべて写りましたがね(笑い)。



出席者

- 柴田 衛 (ホームリンガー 商会支配人代理)
- 月守 章子 (家事)
- 三井 孝昭 (三井工作所社長)
- 米津 三郎 (郷土史家)
- 谷 伍平 (北九州市長)
- 平尾 潤 (司会 市広報室嘱託)

＝敬称略・50音順＝

北九州

70年代は明るい見通し

司会 市長さん、それでは昨年は予期以上の成果があったり、満足だということですね。

市長 ええ、これも市民のみなさんご協力と、市職員の努力のおかげです。それこそ、破産会社寸前だった交通・病院・水道三企業への手術は手荒かったが、よく耐え、回復が非常に早かったと思います。したがって母屋の方の一般

10年を5年に短縮

大気汚染の
環境基準

会計の負担が軽く、黒字になったうえに、なお十五億円の貯金がありました。

七〇年代は北九州市にとって大切な転換期です。この転換を賢明になしとげられるかどうかは市の発展を左右するものです。市民の総力をあげて中期計画の策定と推進につとめなければなりません。

さいごに、新年度の予算については作業中の中期計画にもりこみ予定の事業のなかから、くりあげて手をつけるものが少なくないと思われま

やる気をおこす指導を

三井 公害というものは所得水準があがってくれば自然に解消していきますよ。ロンドンの公害は家庭のストロブによるものだから解消するには大変な努力がいったでしょうね。しかし、本市の場合、企業公害ですからね、企業がやる気にさえなれば、すみやかにたづくと思えます。

米津 三井さんのお話しをお聞きしていると「衣食足って礼節を知る」という感じがします。わたくしは、公害問題はそういうことで解決しないと考えます。やはり市が徹底的に企業へ指導、監視にあたってほしいと思います。あくまでも市民が住みやすい町に、人間性を尊重する市政であってほしいと思います。

70年代を迎えて

市長 谷 伍平

市民のみなさん、あけましておめでとうございます。北九州市が誕生してはや満七才を迎えようとしています。市民のご協力により合併の混乱もおさまり大合併の仕上げはほぼ終わったといえます。

積赤字はケンとび十五億円の積立金までできました。市の仕事も大分はかどおり、道路舗装率は政令市最下位から三位に、小中学校のプールと体育館の保有率はトップに

しました。これらの好条件を生かして、さらに市政を飛躍させるのが七〇年代を迎えた私どもの任務です。

まず、力量をました行財政を基盤にして、ゆたかで現実的な中期計画を策定する準備をすすめています。計画の決定にあたっては、市民の各層各界の意見を十分に反映させ

前ページから

三井 いや、米津さん、企業公害が自然にかたづく... 何十億という金をつぎこんでいるんです。現実にはわたくしが知っているから、これなら企業公害はなくなっていくといったわけです。何も放っておいたらよいという考えではありません。市は、テレメーターで汚染状態をチェックし、企業がやる気をおこす指導

ことしは市民のしあわせを追求

市会 都市環境面についてはいかにですか。



柴田さん

柴田 清掃関係が全般的に非常によくなった。ただ下水溝のふたがこわれ、落ちこんでケガをするよく聞きます。やはりこういう小さなことにも気を配ることが必要だと思えます。

をしてほしいと思います。市長 七〇年代の公害対策の大きな目標は、十年間で実現するよう国の法律で定められている「環境基準」を、その半分の五年間で実現させたいと思っています。米津 市長さん、それは絶対に実現させてください。ご尽力をお願いします。

ことしは市民のしあわせを追求

市長 市民のみなさんの関心はしだいに細かなことに注文が移ってきているようです。わたくしが心配していることは、現在、市は合併の仕上げという大きな目的に向って仕事をしています。ですから職員が大きな事業に気を奪われて、溝ふただとか、道路の穴ぼこ埋め、といった日常生活の身近かな問題を忘れがちになり、市民との間にミゾができるようなことがおこらないよう気をつけなければならぬと思っています。

市長 七〇年代は市民的なシアワセを追求することが強くなる予測をしています。そこで、大きな事業を進める一方、細かなことにも力を入れることを、ことしの重点にして取り組む考えです。

市長 七〇年代は市民的なシアワセを追求することが強くなる予測をしています。そこで、大きな事業を進める一方、細かなことにも力を入れることを、ことしの重点にして取り組む考えです。

高層化か、地下街か

急いでほしい市街地再開発

司会 市街地は車でいっぱい。七〇年代は市街地の再開発を真剣に考えなくてはならない年代だと思えます。そこで、よいアイデアがありましたら...

高層化で土地を有効に

三井 再開発にはいろいろの段階があります。少なくとも北九州市はまだ地下街の段階ではないです。まず地上の整備から手をつけなければいけない。例えば、一つの町内を五階建以上に立体化すれば、住宅面積は五分の一ですが、残りを緑地にするなり、道路に利用するなりできるわけです。

米津 小倉は車と人でごったがえし、ショッピングしても楽しくない。車をとめる場所もない。まして新幹線が小倉駅にはいつてもと、今の駅前広場ではどうにも動きがとれなくなると思えます。西鉄さんには悪いが、路面電車をどうにかしなければ...



市街地を高層化して新しいスペースを...

三井 日本の建物の平均階数は一・五階です。ですから地下を掘るよりも、まず地上に伸ばした方が楽で、しかも土地がグッと広がると思えますがね。わたくしは別に西鉄さんとは関係ありませんが、長い間、使ってきた路面電車を廃止するよりも、沿線の建物を高層化すれば道路を広くできると思えます。

市長 そうですね。市街地を高層化し、整理してスペースをつくらせていくことは、これからの市の仕事だと思えます。ただ、みなさんは、広場がない、ないと、おっしゃるが、考え方を一八〇度回転してほしい。市がいくら道路を拡げたり、広場をつくってもすぐ駐車場になってしまふ。車を長時間放置したりせず、道路や広場をうまく

ぐっとよくなる勝山公園

司会 北九州の自然、緑地けいがかでしよう。米津 本市は自然環境に恵まれています。平尾台、めかり、森林公園、皿倉、福智山などもかなり利用されていますよ。ただマイカーがふえたためか、緑地がほこりつぼめて困りますね。

月守 小倉に住んでいる関係から勝山公園が好きでしたが、市庁舎が建つのでがっかりしています。

市長 新庁舎の周囲は公園として



やがてここに、20万9千平方メートルの公園ができます。写真は勝山公園と造兵廠あと(左上)

残し、もつと樹木をふやします。そして、新しく造兵廠跡に一億二千万円をかけて、子どもと、おとなが一日楽しく遊べる芝生がいっぱいの公園をつくりたい。築山もつくり立体的にし、くさりやあ、前のよりはいいわい、といわれるようなものにし、といわれています。月守 それは存じませんが失礼しました。(笑)

山田弾薬庫跡を公園に

三井 市長さん、そこをお願いがあるんです。普通、住宅を建てる場合、庭づくりは建設費の一〇%が相場といわれています。庁舎建設費が三十四億円、公園が一億二千万円。少しくらいのことで



谷市長

柴田 子どもの教育という面から子どもの遊び場が少ない。市も努力しているようですが、さらに児童のための遊び場、施設の充実を推進する必要があると思います。

船ではすでに海水を淡水化

司会 ところで、水の問題ですがね。海水の淡水化というアイデアは現実的なものでしょうか。月守 ロスアンゼルスでは実用化していましたよ。

柴田 周防灘開発計画にも入っていますし、現実には、船舶では実用化しています。船舶のエンジンを利用していますので、コスト的にはまずまずです。しかし、一般の飲料水用には、技術的には問題はないが、まだまだコスト的に問題があると思えます。

く機能的に回転させて使っていただければ、新幹線が乗入れても、駅前広場や道路のデザインはできると思えます。

人口密集地は地下街

司会 月守さん、アメリカを旅行されて都市計画をどう感じましたか。

月守 アメリカはすべての点で広く、ゆったりとしています。これは建国の歴史が新しいため当初から都市計画を考え、道路、住宅をレイアウトしているからだと思います。日本は歴史が長いので密集した古い施設が多い。高層化ということになる市民の協力が不可欠だし、建替えが大変むづかしいのは、混雑をふせぐためには、駅前などが集まるところは、やはり地下道や地下街を建設したらよいと思えます。



平尾さん(司会)

中小企業の国際競争に勝てる施設を

振興対策

司会 市が発展するには、やはり経済基盤の充実が必要。とくに中小企業の振興対策を...

三井 やはりミクロ的(微視的)に考えてもしょうがない、マクロ的(巨視的)に考えなければなりません。中小企業が、もうひとつ伸びるには、どうやって付加価値を高めるかにかかっていると思えます。中小企業の繁栄なくして大企業の繁栄もない。だから中小企業が今後、繁栄するような行政をたててほしいと思えます。例えば、市内に国際空港の建設などです。現在、アメリカへ輸出するのに飛行機だと、輸送費は少し高いが一週間で着く。ところが船は安いが一週

物館がないのでとても残念に思えます。できれば、市民はもちろんのこと、市外からのお客さまを気軽に案内でき、北九州を認識してもらえような博物館などの文化施設を早く建設してほしいと思えます。

柴田 海運界でもそのとおりですよ。現在、海上貨物輸送も、スピード化、大型化、専用化し、今までに考えられなかった港の受入れ施設が必要になっていきます。単に港だけでなく、陸上輸送、航空輸送が一体となったものが要求されています。北九州市でも、現在、コンテナ基地や専用ふ頭の建設が進められています。さらに国際競争に勝つため、七〇年代は北九州が西日本の中心窓口になるようめざさなければならぬと思えます。

市長 きょうはいろいろと有益なご意見をいただきありがとうございます。地域経済も数年来の沈滞を脱し明るい見通しもでてまいりました。これらの好条件を生かして、さらに市政を飛躍させるのが、七〇年代を迎えた、わたくしたちの使命であると思っています。



三井さん

市長 そうですね。市街地を高層化し、整理してスペースをつくらせていくことは、これからの市の仕事だと思えます。ただ、みなさんは、広場がない、ないと、おっしゃるが、考え方を一八〇度回転してほしい。市がいくら道路を拡げたり、広場をつくってもすぐ駐車場になってしまふ。車を長時間放置したりせず、道路や広場をうまく

北九州に鉄の文化・芸術を

三井 これといった文化がない、鉄の都市であるから鉄の文化を生み出したらと思っているんです。具体的なといわれるとアイデアはないが例えば、茶がまとか、インテリアデザインに鉄を利用したら、北九州らしい文化が生まれるのでは。米津 まず文化振興五か年計画といったものを作る必要があると思えます

これからの北九州



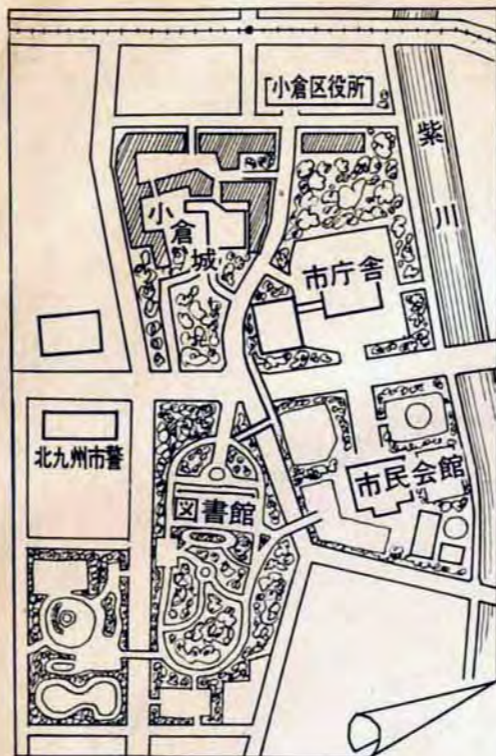
100万都市のシンボル

新市庁舎 1月13日着工

公園と一体・敷地を有効に利用

現在の庁舎は「たこ足」といわれる仮の庁舎、このため総合新庁舎の建設は合併以来の懸案でした。この望みもようやく実現の段階となり、建設準備もすっかり整い、今月13日に小倉区勝山公園内で着工します。設計にあたっては、公園と小倉城との調和や敷地の効率的な利用を考え、地上十五階、地下三階の細長い超高層ビルにしました。デラックスなものでなく機能面を重んじ、十五年さきの人口増も考慮しています。

さらに、従来の「お役所」のイメージを変えて、市民のみなさんに親しまれるものにと、気軽に利用していただけるスペースを十分に盛り込んでいきます。昭和47年始めに完成すれば、一九七〇年代の夜明けにふさわしい百万都市のシンボルになるでしょう。



市民ホールは一階に(下の図)

新庁舎は、現在ジェットコースターのある位置に、建設費三十四億九千万円(うち十九億円は政府などからの低利融資)で建設します。敷地面積は一万九千五百四十平方メートル。建物は、チョコレート色をした本棟(高さ六十七メートル、総面積三、〇七五平方メートル)と議会議堂(三階、十四階、四、九二六平方メートル)に分かれています。庁舎の周囲には、一度に三百台の車を収容できる駐車場が設けられ、さらに本棟内の地下一階にも百台を収容する駐車場が設けられます。本棟の内部は、中央に二十人乗りのエレベーター七台と空気調整室、給排水などの設備を集め、その回りをドーナツ型に事務室が配置されます。新庁舎の特長は、一階にサロン形式の「市民ホール(五百平方メートル)をとり、だれでも気軽にくつろげる場所になります。その階上は市民のみなさんが利用できる「展示ホール」(五百平方メートル)、屋上は展望台となっています。また、電話一、一九番の消防指令センターは三階に、大気汚染に目を光らせる監視センターは十階に配置されます。このほか電算室や新型電話交換機など機能面を重視した近代的な設備がたくさん盛り込まれています。また勝山公園前の道路も、拡張して整備していきます。

勝山公園に特色を盛る

勝山公園は、造兵廠跡へと広げられ現在より二万八千平方メートル、二十万九千平方メートルに、46年暮れには装いも新たに、さらに充実した公園としてお目見えします。造兵廠跡の新しい公園は、音楽広場や催し物広場、現在の児童公園では見られないような楽しい遊具を備えた子どもの広場、芝生広場、つつじの山、駐車場など特長を持たせたユニークな設計となっています。

交通共済一申込みはお早目に

1日1円で最高50万円の見舞金のできる市民交通共済の契約は、今月が切り替えの時期です。継続申込みは1月9日までどうぞ。また新規加入の予約受付も行なっています。申込みは勧誘責任者(町内会長、婦人会など)へ。くわしくは交通共済組合☎8122か各区市民相談室へ。

新春随想

この世の中に不平と不満があるからこそ社会の進歩と発展があるのだと、いいきってしまえばそれと違いないが、その反面この世の中が結構なものだと感じる人もあるだろう。年少気鋭の人は常に世の中の機構や在り方に不満を持ち老練の人は概して社会を肯定する保守派が多いようである。私などもいつの間にか選挙を超えた老人の仲間に入ったので、大学生の騒動には批判的立場をとるようになった。

この理由に、私が生きてきた年輪による過去の時代を身をもって体験したことと現在の社会の比較が現実肯定に結びついているように思われる。

ある偉い課長が、日米開戦の知らせを聞いてああ日本は敗れたと泣いて泣いたと、その課長は日本の十倍以上の鉄を造るアメリカと日本との戦争は鉄の生産量でも勝負がきまっていたと先きの見通しをつけていたという。それが今では幾千万という生産量を持つ日本となった。しかも従業員はその頃の半数以下で三交代が四交代になる日も近いという。原料の鉱石は皆無に近い日本で世界三位の鉄を造りだすこの奇蹟はいったいどこに原因があるのだろうか。鉄だけでなく米の問題でも戦時中から終戦直後のあの飢えた日本をどうやって乗り越えたのか、米がもたらした生産制限に頭をかかえる現在と比

較するならば、まるで嘘のような気がする。油の一滴は血の一滴にひとしいなどといって数少ないパスも木炭をたいて走っていたことを考えると交通戦争という自動車の氾濫は当時考えられなかったことである。

それには日本人の寿命も人生わずか五十年といわれ、戦前では平均寿命四十六歳とか、それが戦後になって二十数年後には七十歳近く伸びて、新しく老人対策を真剣に考えねばならぬようになった。真に有難い社会になった。鉄や、造船や、自動車や、発電量が驚異的な生産を誇るようになるのは、条件や努力によって可能になることもあるだろうが、人間寿命がわずかな歳月の間に二十年も

なくとも最も働き盛りの年齢に二年、三年の長い間病床にふしたものは数限りなくあった。こんなことを回想すると、祭礼の時、路傍で一銭二銭喜捨を乞う窮病の乞食が姿を消し、子供の手にヒビ、アカギレ、シマヤケのない者は珍らしい時代もあった。青ばなをたらし少年、トラホームを思わう少年、なんと貧乏くさく不潔な子供達であったことか。スポーツの駄目な私は、テレビやラジオのない頃は読書が唯一の趣味だった。しかしその書籍も高価で読みたい本も本屋に現れるのが遅れがちだった。電気冷蔵庫や洗濯機、冷暖房の設備から、自家用車の普及、新婚旅行は飛行機でという庶民の夢も容易にかなえられない時代。恵まれた豊かなこの日本を有難いと感謝するのは老人の現実肯定の進歩を阻害するものとのみ断じていいのだろうか。

平和の贈物

岩下俊作

私は八幡製鉄所に三十三年も勤めて停年退職したので社会のことはあまりよく知らないが、製鉄所のことを例にとると、昭和十八年の鉄の生産量は全国六百七十万トンだといわれているが、現在ではその十倍以上の生産量で米ソにつぐ三番目の鉄を造っている。昭和十八年といえど大東亜戦争の最中で戦争に欠くことのできぬ鉄だか

ある偉い課長が、日米開戦の知らせを聞いてああ日本は敗れたと泣いて泣いたと、その課長は日本の十倍以上の鉄を造るアメリカと日本との戦争は鉄の生産量でも勝負がきまっていたと先きの見通しをつけていたという。それが今では幾千万という生産量を持つ日本となった。しかも従業員はその頃の半数以下で三交代が四交代になる日も近いという。原料の鉱石は皆無に近い日本で世界三位の鉄を造りだすこの奇蹟はいったいどこに原因があるのだろうか。鉄だけでなく米の問題でも戦時中から終戦直後のあの飢えた日本をどうやって乗り越えたのか、米がもたらした生産制限に頭をかかえる現在と比

のびるとは一体どうした訳であろうか。昔の八幡製鉄では停年退職後七年が平均寿命だと聞かされてきた。それはど重労働であることだった。だから停年退職のとき共済組合の年金を六か年分前取りして、ところが私は現在退職後七か年になるが、まだ暗い死の足音を聞いてはいない。

明治の悲劇「不如帰」(ほととぎす)は肺結核による浪子(なみこ)の死が全日本の若き男女の涙をそそったが、今では結核の死亡はガンや脳卒中、心臓疾患よりも少なくなっているという。私の青年時代の友人で結核で死亡した者は四人や五人ではない。死亡はし

なくとも最も働き盛りの年齢に二年、三年の長い間病床にふしたものは数限りなくあった。こんなことを回想すると、祭礼の時、路傍で一銭二銭喜捨を乞う窮病の乞食が姿を消し、子供の手にヒビ、アカギレ、シマヤケのない者は珍らしい時代もあった。青ばなをたらし少年、トラホームを思わう少年、なんと貧乏くさく不潔な子供達であったことか。スポーツの駄目な私は、テレビやラジオのない頃は読書が唯一の趣味だった。しかしその書籍も高価で読みたい本も本屋に現れるのが遅れがちだった。電気冷蔵庫や洗濯機、冷暖房の設備から、自家用車の普及、新婚旅行は飛行機でという庶民の夢も容易にかなえられない時代。恵まれた豊かなこの日本を有難いと感謝するのは老人の現実肯定の進歩を阻害するものとのみ断じていいのだろうか。

なにか自由民主党の提灯をもつような感じがするかも知れないが、デパートの買物に集まった幸福そうな群衆、名所旧跡や温泉地に遊ぶ人々の楽しそうな雰囲気は昭和元禄と呼ばれていいだろう。ただ、この繁栄の中に墮落の影はないか、停滞による腐敗はないか、困苦欠乏を美德として育てられた私達に、繁栄の底に民族のエネルギー衰退があるのではないかと、この危惧があるように思える。



筆者は映画などでおなじみの「無法松の一生」の著者。

なにか自由民主党の提灯をもつような感じがするかも知れないが、デパートの買物に集まった幸福そうな群衆、名所旧跡や温泉地に遊ぶ人々の楽しそうな雰囲気は昭和元禄と呼ばれていいだろう。ただ、この繁栄の中に墮落の影はないか、停滞による腐敗はないか、困苦欠乏を美德として育てられた私達に、繁栄の底に民族のエネルギー衰退があるのではないかと、この危惧があるように思える。

なにか自由民主党の提灯をもつような感じがするかも知れないが、デパートの買物に集まった幸福そうな群衆、名所旧跡や温泉地に遊ぶ人々の楽しそうな雰囲気は昭和元禄と呼ばれていいだろう。ただ、この繁栄の中に墮落の影はないか、停滞による腐敗はないか、困苦欠乏を美德として育てられた私達に、繁栄の底に民族のエネルギー衰退があるのではないかと、この危惧があるように思える。

なにか自由民主党の提灯をもつような感じがするかも知れないが、デパートの買物に集まった幸福そうな群衆、名所旧跡や温泉地に遊ぶ人々の楽しそうな雰囲気は昭和元禄と呼ばれていいだろう。ただ、この繁栄の中に墮落の影はないか、停滞による腐敗はないか、困苦欠乏を美德として育てられた私達に、繁栄の底に民族のエネルギー衰退があるのではないかと、この危惧があるように思える。

なにか自由民主党の提灯をもつような感じがするかも知れないが、デパートの買物に集まった幸福そうな群衆、名所旧跡や温泉地に遊ぶ人々の楽しそうな雰囲気は昭和元禄と呼ばれていいだろう。ただ、この繁栄の中に墮落の影はないか、停滞による腐敗はないか、困苦欠乏を美德として育てられた私達に、繁栄の底に民族のエネルギー衰退があるのではないかと、この危惧があるように思える。

なにか自由民主党の提灯をもつような感じがするかも知れないが、デパートの買物に集まった幸福そうな群衆、名所旧跡や温泉地に遊ぶ人々の楽しそうな雰囲気は昭和元禄と呼ばれていいだろう。ただ、この繁栄の中に墮落の影はないか、停滞による腐敗はないか、困苦欠乏を美德として育てられた私達に、繁栄の底に民族のエネルギー衰退があるのではないかと、この危惧があるように思える。

スポットコーナー

1月1日現在

農業委員会委員選挙 人名簿を作ります

つきの方は、1月10日までに農業委員会へ申請書の提出を。【資格要件】昭和45年1月1日現在、市内に居住して、昭和25年4月1日以前に生まれた人(外国人を含む)で、つぎのいずれかに該当する人です。①十アール以上の農地を耕作している人②前記①に該当する人の同居の親族か、その配偶者、または農業生産法人の組合員が社員で年間六十日以上に従事する人。

物品納入業者の申請

45年度市納が、物品購入、修繕または売却をする際の指名競争入札に参加を希望する人は1月5日から1月31日までに市財政局調達課(戸畑区新池二丁目1-11 ☎1581)へ申請を。申請用紙は、同課か、区役所会計課、水道局調達課、建設局契約課、建築局契約課で。

入札業者の申請

北九州港管理組合が行なう建設工事の入札見積りに参加を希望する人は、1月21日から2月20日までに、同組合総務部財政課(門司区西海岸通り ☎1331)へ。申請用紙は北九州港振興協会(同組合内)で販売します。

不用大買います

小倉保徳所と城野保徳所。1月8日(日)保徳所。若松区役所前広場。八幡区中央市民広場。香月出張所。戸畑保徳所。10時、14時(12時から一時間休)成六百五十円。千六百円。印鑑持参を。

「家庭の日」の スナップ募集

「家庭の日」の運動にふさわしいもの。カラーはサービスマン、白黒はキヤベネ以上1月31日まで市教育委員会青少年課(八幡区本町一丁目)作品裏面に応募カード(中央公民館、写真店にある)を。



交通戦争に備える 44年度は、歩道橋10基の建設、歩道17キロ新設、照明灯82灯設置など新3か年計画の初年度で3億円を使いました。

奨学金あり

●北九州市奨学金を受けた人は1月5日から31日までに各学区教育事務所へ申し込みを。資格は、市内に一年以上住んでいる人かその子弟で、高校、高等、大学、大学院在学中(進学予定者)の人で、他の奨学金(ただし、山九交通児童奨学金は除く)を受けていない人です。貸付月額は、高校千五百円、高等二千円、短大、大学三千円から五千円です。



「青年の家」は春開く 若者の心身をきたえる場は200人泊ることができます。海と湖と緑の若松頓田に建設中。工費は1億4千万円。

●調和記念奨学金もあります。これは、県内に六か月以上住んでいる人で、戦争犠牲者の遺児か、これに相当する高校生と大学生です。他の奨学金を受けていないことです。貸付月額は、高校千五百円、大学三千円。希望者は、1月5日から20日までに同市若松・戸畑区の場合は区役所社会課、小倉区は各福祉事務所、八幡区は東福祉事務所へ、申し込みを。



市営住宅1万5千戸に 44年度の1,429戸を加えると計1万5千戸を突破します。(八幡区小嶺で、後方は分譲住宅)

調査に協力を

◆工業統計調査 通産省では、昨年12月31日現在で製造業者を対象に行政資料と経営指針を得るための基礎調査中。
◆農業センサス 農林省では、2月1日現在で、農林業の実態をつかむ調査を実施。以上のいずれも秘密厳守。
◆医師歯科医師薬剤師調査 厚生省では、昨年12月31日現在で国の医師、歯科医師、薬剤師名簿に登録されている人の調査をします。届出票を1月15日までに保健所へ提出を。



響灘埋立地の造成 産業地盤の浮揚と体質改善をねらう同埋立地の造成は、11月末の起工式で本格化しました。全体計画は3,700万㎡



舗装急ピッチ 市内舗装道路の延長が10月1,000キロを突破しました。41年末550キロだったものが、わずか2年半で450キロも足をのばしました。

る悩み・公害についても、スモッグ防止対策要綱の実施、防止協定の締結など、今春完成するテレメーターもあわせて、一段と努力を重ねています。福祉面では敬老年金を80歳以上に引上げ、老人職業紹介所の開設、ベットの貸出し、精薄児の職業訓練施設の新設など、きめこまかな新しい施策を打ち出してきました。

新春早々には、新市庁舎の建設がはじまります。また、若松区頓田に青年の家が、この春開所します。関門大橋の建設、新幹線の乗入れ、大型臨海工業用地の造成など、ぞくぞくと大規模な開発投資がすすむうとしています。これに見合う都市づくりの青写真は、市民各階層の意見を開いて準備中です。



考える消費者づくり 商品知識を高める展覧会を11月に開き1万人が入場。

- 8月 ▼寝たきり老人にベッド貸す ▼門司市野浦にコンテナ基地起工 ▼高齢者職業紹介所を開設 ▼八幡区市民課にベルトコンベア設置 ▼藩政文化展開く
- 9月 ▼若狭小と牧山小に学費減免施設 ▼八幡区市民課にベルトコンベア設置 ▼藩政文化展開く
- 10月 ▼児童相談所の改築落成 ▼市内舗装道路延長が一千キロを突破 ▼製鉄所製鉄所第三煙塔の公害防止協定結ぶ ▼消費生活展ひらく ▼二高保育所開所
- 12月 ▼救急指令センター1完成

市政この一年 '69

町にあふれる一体感

盛りあがった市民意識

一九六九年の北九州市は、一体感あふれる市民意識が生まれた年といえましょう。声の合併は、市民の心を一つにして、経済成長とともに、旧市意識の垣根を吹とばしてしまいました。紫川に始まった川の美化運動のひろがりなどは顕著な一例。市政の面でも、ようやくピントの合ったまちづくりが動きはじめました。



北九州市民共済生活協同組合 1日1円で最高50万円 年間360円のかけ金で最高50万円の見舞金がでる市民交通共済制度が、1月10日からスタートし、昨年12月現在で15万7千人加入。



市内の電話 長い間待ち望んでいた市内5区の声の合併、料金統一が、3月2日からスタート。北九州市に残された最後の「タッチゾーン」とまでいわれた懸案の解決は、この年最大のプレゼントでした(記念展で)



ひろがる浄化の波紋 紫川に始まった川を美しくする運動は全区にひろがり、市でも浚せつ、パトロールに努めました。(大蔵川で)



赤ちゃんの無料検診 保健所で行なっていた零歳児診査を、4月から開業医に委託し、従来の受診率30%が70%台にアップ。



油木ダム 英彦山麓から本市へ1日10万6千トンの水を引く油木ダムは、6月ダム本体の工事に着手しました。

- 1月 ▼北九州市民共済協同組合事業(市民交通共済)発足 ▼新市庁舎建設を始める
- 2月 ▼市議会議員選挙行なわれる ▼南小倉倉庫所落成 ▼足立学園の増築工事が終了 ▼百床になる ▼市内電話料金が統一された
- 3月 ▼零歳児検診が開業医に委託された
- 4月 ▼市立若松病院の改築落成 ▼小倉徳力小学校と八幡中田中学校が開校 ▼戸畑共同火力と第一号公害防止協定を結ぶ ▼第一号公害防止協定を結ぶ
- 5月 ▼職制学校を米町小学校内に開設 ▼初のスモッグ警報発令 ▼西門司公民館落成 ▼渡船船13わかと丸就航 ▼小倉吉田下水処理場が運転開始 ▼若松区頓田に青年の家起工
- 6月 ▼養護職業訓練施設「春ヶ丘学園」が小倉区に開校 ▼油木ダム本体工事に着手
- 7月 ▼スモッグ防止要綱の実施制定

養護学校の生徒を募集

対象は心身障害児

心身障害児に適正な教育をする市立門司、小倉、八幡の三養護学校で、45年度の生徒を募集します。

▽門司養護学校 対象は、虚弱で健康上、注意しなければならぬ児童。募集は小学生六十五人、中学生三十五人。全員寄宿制度です。問い合わせは同校(門司区白野江二、三〇一〇八四三)へ。

▽小倉養護学校 ①小児まひや脳性まひで手足や言語に障害のある児童。小学生十人、中学生十人。通学はスクールバスで。②結核や慢性疾患などで国立小倉病院入院する児童。小学生十五人、中学生十人。くわしくは同校(小倉区春ヶ丘10-3、0075)へ。

▽八幡養護学校 知恵おくれの子どもで、ひとり通学できる児童。小学生十人、中学生三十人。通学は個人通学。くわしくは同校(八幡区鷹の果三丁目052)へ。申込みは、いずれも早めに。なお、養護学校には就学奨励費の制度があり、生計の程度によって教育費の全額または半額を支給。

法律人権特別相談

【日程】▽1月7日 小倉区役所市民相談室 ▽8日 戸畑文化ホール会議室 ▽12日 八幡社会福祉会館 ▽16日 若松文化体育館 ▽26日 門司区役所会議室

(いずれも午前10時～午後3時)

【相談内容】土地、建物の貸し借りや明け渡し、金銭貸借、戸籍、人権問題に関するものもめことなど。

【相談員】弁護士、人権擁護委員、法務局職員。相談は無料。

市営バス 雲仙の霧氷観光

1月24日・25日(二泊二日、ホテル・ニュー雲仙に宿泊)。若松渡場を午前7時30分出発し西木町学校通り7時40分、藤ノ木駅前7時45分、二島新道8時、折尾営業所8時10分。おとな四千九百円、子ども二千八百四十円(若松渡場から)。申込みと問い合わせは市交通局運輸係(若松区二島0031)、丸柏案内所(若松区木町03479)折尾営業所0132。



成人祭の案内状は届きましたか

新しく成人になった人たちの前途を祝福する成人祭を、1月15日に門司文化会館、小倉市民会館、若松文化体育館八幡区体育館、戸畑文化ホール各会場で催します。これに参加該当する昭和24年1月16日から25年1月15日までに生まれた人に案内状をお届けしました。案内状が届かない人は、つぎの場所へ住所、氏名、年齢を証明するものを持参してください。

▷小倉区・若松区・戸畑区は中央公民館 ▷門司区は中央公民館と大里公民館 ▷八幡区は地区公民館

式典には華美でない服装でご出席を。

音楽コンクール 受賞記念演奏会

第38回

▷とき=1月27日夜6時30分
▷ところ=門司文化会館
▷入場料=A券 300円 B券 200円
▷出演者=わが国楽壇への登竜門である同コンクール1位入賞者(アルトサキソフォン川原和男、ピアノ神野明、メゾ・ソプラノ野野美代子、バイオリン福垣悠子の諸氏)

門司

■百日せき・ジフテリア予防接種 対象は、①生後三か月から六か月までの乳児と、六か月以上でも受けたことのない人(三週間から四週間おきに三回接種で、今回は三回目) ②前回の接種をおわり、十二か月から十八か月たっている人(一回接種)。

▽開業医院：三回目1月8日、10日 1月29日、31日 (時間は午後1時～3時)

接種の際は予防接種手帳か母子手帳があれば持参を。無料。

小倉

■美術展の作品募集 3月に開かれる小倉美術展の作品を募集します。日本画、洋画、書、写真、彫刻、染織の六部門。くわしいことは小倉中央公民館(市民会館一階02712)へお問い合わせください。

■自動車文庫巡回 1月10日 木町県営アパート10時30分・山路町通産11時・荒島16時20分 12日 足原小学校10時30分・足立団地14時30分 14日 城野団地10時30分

若松

■フッソ塗布 1月は12日から始めます。毎週月曜午後1時30分～3時。乳幼児を対象に若松保健所で行なっています。一回が二十円、四回塗布するのが適当です。

■母親学級 1月は休みます。初妊婦の方を対象に若松保健所が開いている「学級」です。

■心配ごと相談 1月21日・28日 若松中央公民館8号室、1月26日 二島公民館。いずれも午前10時～午後3時。相談内容は、身上一家庭、住居、教育など。相談員は民生委員です。秘密厳守。無料。

八幡

■早稲田速記講座 1月13日～3月24日(毎週火曜)黒崎公民館、1月16日～3月27日(毎週金曜)大谷公民館で、午後6時30分～8時30分開講。対象は一般社会人。申込み受けは、両公民館とも1月8日・9日午前10時～午後9時、先着順で各四十人。受講無料。

■新成人祝賀チャリティダンスパーティ 1月16日午後6時、八幡中央公民館講堂で。参加費二百円。

■交通事故巡回相談 1月9日・16日・23日、午前10時～午後4時 区役所市民相談室で開きます。

■育児相談(乳児相談) 黒崎保健所では1月に限り、つぎのとおり育児相談(乳児相談)を行ないます。時間は午後1時～3時。

▽1月8日・22日 四か月児
▽1月29日 七か月児

戸畑

■母親教室 対象ははじめておつかあさんになる人。受講希望者は当日、母子手帳を持って戸畑保健所講堂へ。講師は産婦人科医、歯科医、助産婦、保健婦、栄養士。時間は午後1時～3時。無料。

▽第一回 1月15日(妊娠中の生理衛生、妊娠中の栄養、妊婦体操)
▽第二回 1月20日(分娩の準備、分娩と産褥期、赤ちゃんの入浴)
▽第三回 1月27日(乳児の保育、妊娠と産褥について、母子保健に関する制度について、映面上映)

告知板

償却資産の申告

1月20日までに



固定資産税は土地や家屋のほか償却資産にも1月1日現在で課税されます。これは事業のために使用している資産(構築物・機械・装置・船舶・車両・運搬具・工具・器具・備品)です。すでに事業者には申告書を送っていますが、書き方のわからない人、新規開業などで用紙が届かない人は、区役所償却資産係へお問い合わせを。

市・県民税

第4期分



納める場所=市役所・区役所・出張所・分室。銀行・信用金庫などの市税取扱店か郵便局。

1月31日までに納めましょう